

赤穂総合学科新校（仮称）再編実施基本計画

1 対象校

赤穂高等学校

2 募集開始（開校）予定年度

令和 11 年度

上伊那地域の高校の再編が進む中、より魅力的なカリキュラムをできるだけ早期に提供するため、施設の整備期間等を考慮し、令和 11 年度を新校の募集開始予定年度とする。

3 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 総合学科 5～7 学級程度

定時制課程 普通科 1 学級

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

第 3 通学区唯一の総合学科を設置する。自己の適性、社会とのつながりを意識したキャリア教育を実践し、多様な学びが可能な系列横断型のカリキュラムを通して、自主的に進路希望の実現を図ることが考えられる。

上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移や高校の再編進行状況から、新校の開校年度には 5～7 学級程度が想定される。

赤穂高等学校の定時制普通科は新校に継承する。

4 学びのイメージ

別添のとおり

幅広い系列の設定により多様な個性が伸長し、地域との連携による実践的な学びにより、国際社会と未来を見据えた人材が育つ「地域とともに未来をひらく学びの拠点」を構想する。

5 施設設備

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図ってゆく。

・施設整備に要する期間 6 年程度を想定

赤穂総合学科新校の学校像

地域とともに未来をひらく学びの拠点

目指す学校像

- 地域に根差し、開かれ、ともに歩む学びの場
- 自由闊達、文武両道の伝統が息づき多様な個性が伸長する学びの場
- 国際社会と将来を見据え、未来の可能性を追究する学びの場

育成する生徒像

- 地域理解を通じて地域貢献を実践する、思いやりのある人物
- 自主性をはぐくみ、主体的に行動し、発信できる人物
- 新しい時代を担う、国際感覚とコミュニケーション力を持つ人物

多様な進路や学びの希望に応える系列の設置

- 多彩で魅力ある講座を設置
- 単位制によるフレキシブルな学び
- 教科や専門科目の枠を超えた横断的な学び



地域と連携した探究的な学び

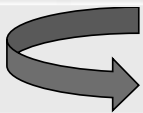
- ウミガメプロジェクト*を核とした地域理解
- 企業等と協働し課題解決を目指す学び
- 地元公民館との連携（出前講座）

※駒ヶ根市との連携 - 将来の地域を支える人材育成と魅力ある高校づくりの推進

地域に愛され、共に歩む高校

キャリアデザイン

- 「産業社会と人間」を通じた自己の生き方・職業観の追究
- 地域をフィールドに多くの人達と協働する「探究学習」
- 多彩な設置科目から自主的に学びをデザイン



学び続けることが可能な環境づくり



生徒の希望に応えるカリキュラム

- 人文社会・自然科学 (文理を超えた広角的な視野の学び)
 - グローバルコミュニケーション (異文化理解・国際貢献)
 - ヒューマンコミュニケーション (持続可能な社会の実現)
 - ビジネスコミュニケーション (起業・産業構造の変革)
 - メディアコミュニケーション (未来のメディアを創作)
- ・ 多様な科目を設置し、希望進路を実現
 - ・ 上級学校（県看護大・信大農学部・工科短大等）、関係機関（JICA等）や産業界と連携した専門的・実践的な学び
 - ・ 幼保小中高大の連携による学びの継続
 - ・ 支援が厚く、生徒の更なる学びの意欲を高揚

学びを支える共学共創コンソーシアム



- 赤穂高等学校の定時制普通科は新校に継承